

## Y02a すばる望遠鏡山麓施設における小学校3、4年生向け授業

臼田-佐藤 功美子、Catherine Mie Ishida、古澤順子(国立天文台ハワイ)、他ハワイ観測所メンバー

すばる望遠鏡山麓施設では、地元ヒロ市における天文学教育の普及と地域貢献を目的として、随時現地の学校からの見学を受け付けている。スクールバスに乗って一学年全員で見学に来るのは小学校3、4年生が多い。その際、私たちは見学者のために1、2クラス単位(25-50人程度)で約1時間の授業を行っている。

アメリカ合衆国とハワイ州それぞれの理科教育基準と、「Hands-on activity(自分たちで手を動かしながら学ぶこと)を入れて欲しい」という先生方からのリクエストを踏まえた上で、試行錯誤を経て3、4年生のレベルにあった授業内容を作り上げた。内容は、

- (1) イントロ: すばる望遠鏡とマウナケア天文台の紹介、距離と速度のはなし
  - (2) Hands-on activity: 天体の写真を切り取り、太陽からの距離順に並べ替える作業(を子供達にやってもらう)
  - (3) まとめ: (2)の正解、天体からの光が届く時間と身の回りの出来事の照らし合わせ
- という形式をとっている(本授業では距離の概念に重点をおいている)。

本講演では、子供達に光速度や距離を実感してもらうために行った工夫や、試行錯誤の過程で習得した一般講演・授業のノウハウ等を紹介する予定である。